

舞鶴発 新商品続々と

舞鶴商工会議所などが舞鶴市内の商工業者を対象に開いてきた「まいづる逸品づくり塾」で開発された新商品が続々誕生。ヒットが期待されている。

舞鶴の赤れんがをイメージした新たなれんがを開発したのは、舞鶴市喜多の建設資材販売会社「DIY STYLE」(0773・78・1807)。

「京れんが」と「京都クラフト」は、ともにセメントなどを焼かずに作った。5日から店頭で販売を始めた。

「京れんが」は縦横のサイズは舞鶴の赤れんがと同寸だが、厚さは1・2センチと薄い。白、ピンク、クリーム色など5色がそろい、オーダーメイドで対応が可能な色をあわせると全30色。重さも本物のれんがの約5分の1と軽量で、インテリアなどに施工しやすい。60枚8500円(税込み)。

「京都クラフト」は縦1・2センチ、横4センチ、奥行き2センチのミニれんが。玩具ブロックのように京都タワーなどを組み立てることができる。こて板とこて付きで、れんが職人の仕事を体験できる。60枚2万5千円(同)。

同市浜の海産物加工販売会社「長谷川巳之助商店」(077



干物の小袋セット

干物の小袋を詰め合わせた「舞鶴海のたまて箱 おとひめキッチン」を手にする林志野店長

30色の軽量れんが



「京れんが」(右)と「京都クラフト」で作った京都タワーを示すDIY STYLEの森本隆社長=いずれも舞鶴市役所

3・62・0156)は、イワシやヒメジ、ササカレイなど舞鶴産の5種類の干物を11×13センチの小袋に入れ詰め合わせた「舞鶴海のたまて箱 おとひめキッチン」を発売。季節によってワカメや子イカなども加わる。5袋980円。贈答用の箱入り(10袋)2500円で、1袋(190円)からのばら売りもする。林志野店長(36)は「大きな袋しかなかった干物を小分けにして、かわいいイラストやパッケージで女性や子どもにも親しみやすく工夫した」と話す。

このほか、同市浜の「和洋ダイニングかなで」は京水菜とアボカドのカルパッチョなど新メニューを開発し、すでに提供を始めている。

舞鶴の3月
来場過去
赤れんがパ

舞鶴市の舞鶴赤
1クと周辺の海上
吸岸壁、市立赤れ
館への来場者が、
昨年度、過去最多
たことが、市など
でわかった。

同パークには39
7人が訪れ、20
月のオープン以来
の増加となったが
は10・16%にとど
年度より鈍化した
商業課の井上隆
「14年度は舞鶴若
通で北陸方面から
が多かったが、昨
都縦貫道の全通で

市川海老蔵 舞台成功を

京都々々

歌舞伎俳優の市
さん(38)が主人公
を演じる「源氏物
章」(源氏物語)
まで」が6日か
場(下京区)で始

